

令和元年8月29日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直 通：257-6972
--

病害虫発生予報第6号について

今後発生が予想される大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 9月上旬～9月下旬

2 予報内容

(1)大豆

カメムシ類の発生は**多**と予想される。子実肥大期の防除を徹底する。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

(2)果 樹

カメムシ類の発生は**多**と予想される。飛来初期の防除を徹底する。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。発生源となる下草を刈り取った後に防除する。

(3)野菜・花き

アザミウマ類、アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止を徹底する。